

広島バス 29 号線（矢賀経由）の実証運行の概要

1 要旨

共同運営システムにおいて進めている「バスネットワークの全体最適化」の一環として、広島バス 29 号線について、昨年度の実証運行により確認された課題を解決（身近な目的地への移動における乗継不要化、乗継地点の待合環境の改善）するとともに、更なる利便性向上策を講じた内容として改めて実証運行を行い、来年度からの本格運行を目指す。

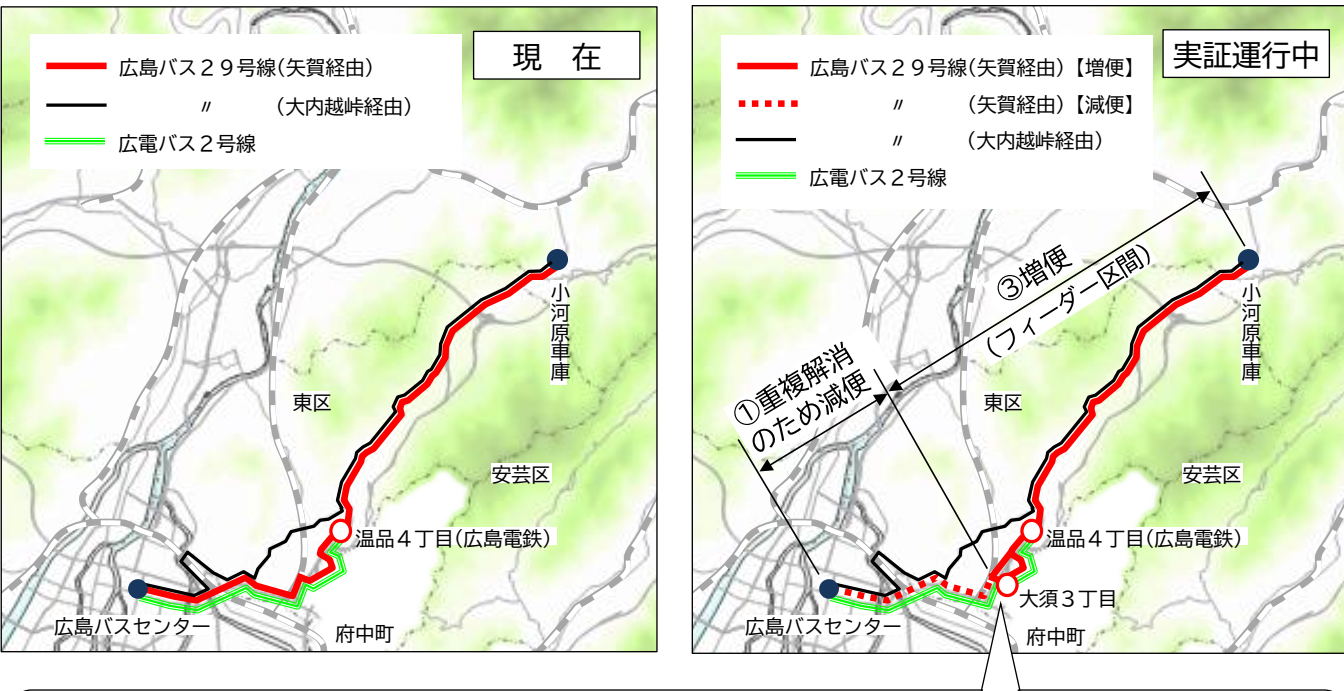
2 実証運行概要

対象路線	広島バス 29 号線（矢賀経由）	
実施期間	令和 6 年 10 月 1 日（火）～ 12 月 28 日（土）	
時 間 帯	朝タピーク時を除く 9 時台～16 時台	
実施内容	運行効率化	①広島バスと広島電鉄の路線重複の解消 ②温品 4 丁目（広島電鉄）におけるバス停及び車庫の共同利用
	利便性向上	【昨年度に引き続き実施】 ③フィーダー区間の増便による空白時間帯の解消(概ね 1 本/2 時間を 1 本/1 時間に増便) 【昨年度確認された課題の解決に向けた取組】 ④フィーダー区間の終点を、温品 4 丁目（広島電鉄）から利用の多い大須 3 丁目まで延伸 ⑤大須 3 丁目バス停近隣の店舗内にバスロケーション表示器を設置し、待合場所として活用 【更なる利便性向上】 ⑥実証運行時間帯の最初の 1 便を、イオンモール広島府中へ乗り入れ ⑦ラストワンマイル対策として、温品 4 丁目（広島電鉄）に駐輪場を仮設
	その他	⑧温品 4 丁目（広島電鉄）もしくは大須 3 丁目で広島バス 29 号線と広電バス 2 号線を乗り継いだ場合に直通運行と同一運賃となるよう、直通乗継割引を導入
運行ルート	右図参照	
検証内容	・昨年度の実証運行の結果を踏まえた利便性向上策等が利用に与える影響を検証 ・事業者の運行効率化を検証	

3 今後のスケジュール

令和 6 年 9 月中旬 沿線地域へのチラシ配布
10 月 1 日～ 実証運行開始（12 月 28 日まで）

〔運行ルート図〕



拡大図

